

## 第4回「グローバル研究会」に関する打合せメモ

(原則として敬称を略す)

作成：一般財団法人アーネスト育成財団  
専務理事 小平 和一朗

日 時：2014年11月18日(火) 午後5時00分から9時10分

場 所：一般財団法人アーネスト育成財団内打合卓  
(東京都渋谷区代々木1-57-2 ドルミ代々木704号)

出席者：(座長)前田光幸研究員

西河洋一理事長、小平和一朗専務理事、浅野昌宏研究員、大橋克己研究員、  
杉本晴重研究員

### 提出資料：

- (1) 技術経営人財育成セミナー(第13回)案内
- (2) Earnest Vol.03 No.1(008)
- (3) 前回(第3回)打合せメモ(2014.9.9)
- (4) イタリア報告 西河 洋一
- (5) グローバル化における問題、その原因を分析する(アンケート集計) 小平和一朗
- (6) 大手通信企業の海外展開の教訓 杉本晴重
- (7) グローバル展開の段階的マネジメント 前田光幸
- (8) イスラム国と周辺情勢 浅野昌宏
- (9) 今後の研究活動 前田光幸

## 1. はじめに

財団活動の状況として、西河技術経営塾2014年10月開講(第2期生)に向け塾生6名で開塾した、技術経営人事育成セミナー(第13回)『米国式会計制度強制適用に伴う経営阻害要因から探る日本企業のイノベーション経営について』倉田洋能率大学経営学部現代ビジネス学科長・教授(12月1日)などを小平和一朗専務理事から報告があった。

上級コース検討研究会を11月に実施した。

研究会は前田光幸が座長になって議事を進めた。前田から「議事録の作成は、今回から発表者ごとにまとめることとしたい」との提案があり、決定した。

## 2. 議事

### 2.1 イタリア現地調査報告

西河洋一

写真を主体にイタリア視察の報告があった。西河理事長は、10月22日~29日まで、南イタリアのバーリーナポリ、ローマの3都市を回ってきた。イタリアの昔の住宅と遺跡を見てきた内容の報告があった。ガイドさんの話では、イタリアは、「マザコンが多いというのが特徴で、女性が強い」「犯罪が多いが、それはインドの近くから集団できている人達で、同行者も電車の中で鞆の被害にあった」。イタリアの南を訪問したせいか紅葉を見られなかったことだ。木の多くはオリーブの木が多く、落葉樹が少ないせいか色づいてなかった。最近の家の作り方を見たかったがかなわなかった。

### 2.2 グローバル化における問題、その原因を分析する(アンケート集計)

小平から、アンケートで委員からあげられたグローバル化の問題を整理し報告があった。詳細は、提出資料の通りである。

- 2 . 3 大手通信企業の海外展開の教訓 杉本晴重  
( 報告詳細は、「 4 - 1 」による。)
- 2 . 4 グローバル展開ノ段階的マネジメント 前田光幸  
( 報告詳細は、「 4 - 2 」による。)
- 2 . 5 イスラム国と周辺情勢 浅野昌宏  
( 報告詳細は、「 4 - 3 」による。)

2 . 6 今後の研究活動 前田光幸

前田座長から既に 4 回実施し、最初の会合で小平がアジェンダとして提案した初期の ( 1 ) 文化、( 2 ) 日本経済、( 3 ) 世界経済、( 4 ) 政治、( 5 ) 法務、( 6 ) マーケティング、( 7 ) エンジニアリング、( 8 ) マネジメント、( 9 ) 経営学、( 10 ) 人間力の 10 項目の「法務」をほとんどに取り組んだ。

今後、どうするかについては 1 月、3 月の 2 回やって、その段階で一度整理をしたい。

それを含めて次回にあと、どういうアジェンダが抜けているかを考えて欲しい。任期は 2 年間なので、3 月には中締めをしたい。抜けている項目について、次回議論したい。

グローバル化にあたって日本の企業の強い点、弱い点があると思う。特に日本企業がグローバル化で弱い点が強調され過ぎている。日本も意識をすればできるというポジティブな点を、1 月は議論したいと考えている。

次回のアジェンダ ( 仮題 ) :

- ( 1 ) 小平「アンケートの要約、課題・問題に対する対応についての示唆」
- ( 2 ) 小平「リーダーシップにおける人間力 ( センスウェア ) 」
- ( 3 ) 大橋「明治期以降の日本的経営の型」
- ( 4 ) 前田「グローバル展開における日本的経営の強み」
- ( 5 ) 浅野「アジア・アフリカにおける日本企業の功績・貢献」

次回の研究会 : 1 月 27 日 ( 火 ) 午後 5 時 ~

以上